

2013年10月14日

報道関係各位

第12回 JCF 学生映画祭実行委員会
事務局長 沢田隆二

第12回 JCF 学生映画祭 in Tottori

コンペティション3部門

<学生映画 AWARD><学生アニメ AWARD><学生マンガ AWARD>

グランプリが決定!

JCF学生映画祭は、1999年、夕張市主催の<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭>の第10回記念特別協賛企画として、当時、949団体が加盟するJCF日本サークル連盟（JCFは、ジャパン・サークル&クラブ・フェデレーションの略）が、<次代を担う映画監督の発掘と育成！>をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出して参りました。2011年の記念10回開催より、鳥取県の特別講演と助成を受け、米子市で開催して参りまして。本年鳥取県米子市での3年目の開催を迎えます。

本年は、コンペティションプログラムにおいて、（学生映画、学生アニメ、学生マンガ）には、合計4451作品の応募を全国から頂き、10月14日（月）に鳥取県米子市のコンベンションセンター（BIGSHIP）とアルファビルで開催され、各部門の入選作品の中から、各部門審査員による最終審査により、グランプリが決定いたしましたので、お知らせ致します。

尚、本年は事前に最終審査が行われ、受賞・入賞作品の披露上映として映画祭会場で上映が行われます。各部門の受賞者及び審査委員長は下記の通りでございます。

記

< 第12回 JCF 学生映画祭映画アワード・アニメアワード 各賞の受賞に関する結果発表 >

本日映画アワードとアニメアワードにおいて厳正な審査の結果各賞の受賞が決定いたしましたのでご報告します。尚、各部門の審査委員長は下記でございます。

<審査員>

学生映画アワード

審査委員長：沢田隆二（ヨナゴピクチャーズ代表）

学生アニメアワード

審査委員長：赤井 孝美（イラストレーター、プロデューサー・米子映画事変委員長）

学生マンガアワード

審査委員長：寺西竜也（漫画家、株式会社ラ・コミック代表取締役）

< 1 > 第 12 回 JCF 学生映画祭映画 学生映画アワード

■学生映画アワードグランプリ作品：「漁火」

(監督：沢田啓吾・日本映画学校卒業)



●作品概要 監督の叔父を一年間追ったドキュメンタリー映画

●監督 PROFILE 大学を卒業後、日本映画学校に入学ドキュメンタリー制作を得意とする。本作は、卒業制作で制作したもの。

●上映時間／上映場所／（作品時間：42分）

会場：米子コンベンションセンターおよび DREAM STAGE PASS

■学生映画アワード 準グランプリ作品：「liver in the desert」

(監督：石井壮太郎・慶應義塾大学4年)



●作品概要 ダイナミックな作風と少年リバーの心境の変化が見もの作品

●監督 PROFILE 高校時代よりロックバンドを結成。作詞作曲、ボーカルを務める。映画館でのアルバイトがきっかけで映画に没頭する。大学4年時に1年間休学し、ロサンゼルス映画専門学校 NEW YORK FILM ACADEMY に留学する。本作は卒業制作の作品である。

●上映時間／上映場所／（作品時間：10分15秒）

会場：米子コンベンションセンター

■学生アワード 審査員特別賞 作品：「服人間」



(監督：高橋良多・早稲田大学川口芸術学校4年)

●作品概要 非常に抽象的で感覚的な表現が実に面白く新感覚ムービーと言える作風に注目。

●監督 PROFILE 早稲田大学川口芸術学校に在学し、マンガ、アニメ、映画とマルチな創作活動をしており、本作は2011年に制作した映画作品。

●上映時間／上映場所／(作品時間：5分40秒)

会場：米子コンベンションセンター

< 2 > 第12回 JCF 学生映画祭映画 学生アニメアワード

■アニメアワード グランプリ作品 : 「LIFELINE」



(監督：西村丞二 デジタルハリウッド大学3年)

●作品概要

●監督 PROFILE

●上映時間／上映場所／2分53秒

会場：米子コンベンションセンター

< 3 > 第 12 回 JCF 学生映画祭映画 学生マンガアワード

■学生マンガアワード グランプリ作品 :



「さだこさんのおんがえし」

(監督： 幸村佳苗 宝塚大学)

- 作品概要** ごくごく普通の生活を送るサラリーマンの元に、差出人不明のお弁当が届く。それは、毎日バス停で見かける不気味な女性からのささやかな恩返しだった。

- 監督 PROFILE**

電子書籍にて BL 漫画を配信中。

その他小説の挿絵などもプロとして一部活動中。

以上